

背景

被災地における復旧・復興工事の本格化に伴う旺盛な資材需要

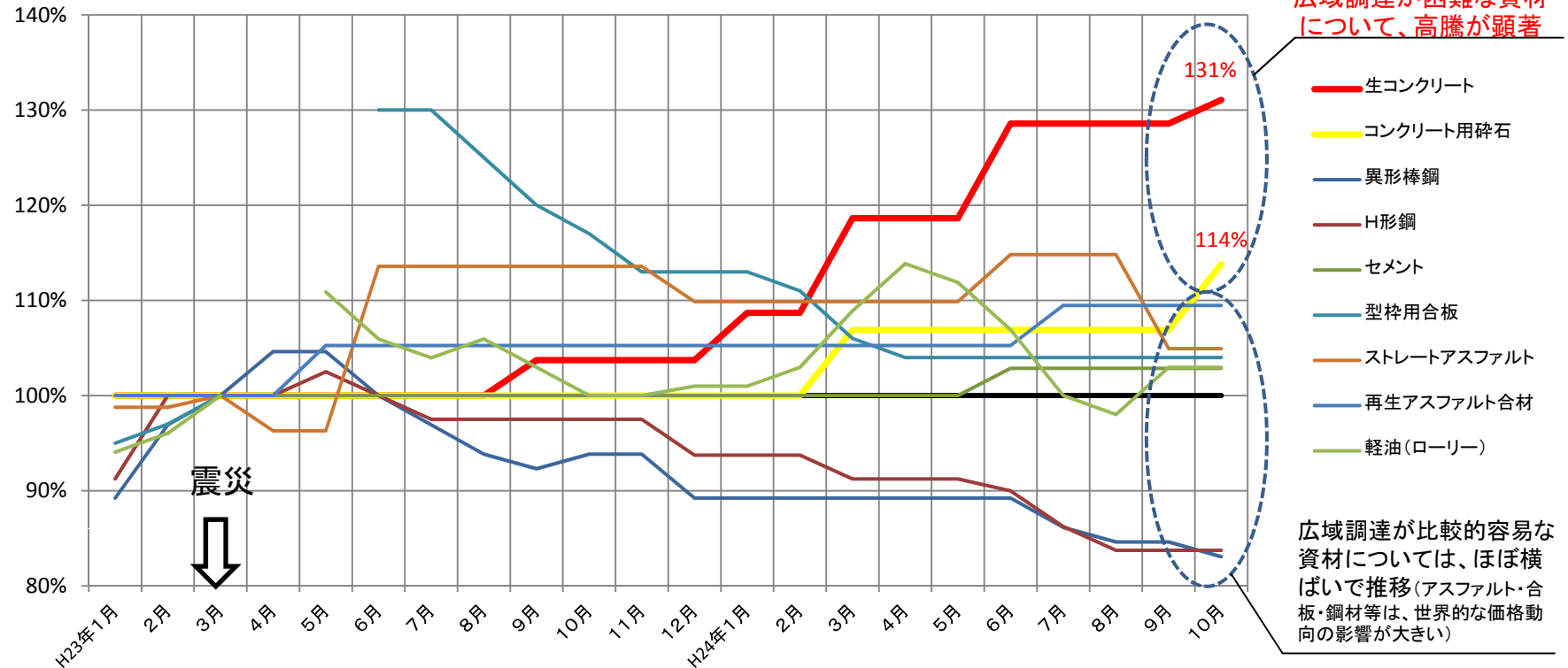
一部建設資材(広域運搬が困難な建設資材)について、需給のひっ迫及び価格の高騰が生じている

- ・生コンクリート：時間の経過とともに固まる性質のため、広域運搬が困難
- ・砂・砂利・碎石等：材料費に占める運搬費の割合が大きいため、広域運搬に不向き（価格の上昇）

一方、広域運搬が困難ではない建設資材については、目立った需給のひっ迫・価格高騰は生じていない

主要建設資材の価格変動(仙台地区)

※H23.3を100%とする



現 状

国土交通省における建設資材の確保対策

課題

復興の本格化に伴い、

- ①生コン需給のひっ迫 ②生コン原材料(砂・砕石等)のひっ迫 ③建設資材価格の上昇

等の問題により、復興の進捗に支障が生じかねない状況

①生コン需給のひっ迫への対応

○資材連絡会・分科会による需給情報の突合・調整

6月以降、東北地方連絡会を2回、各地区での連絡会を6回開催

○生コンプラント増設

生コン工業組合等、生産者へ生コンプラントの増設を要望した結果、4件の仮設プラントが新たに稼働(見通し含む)

○大量に生コンを使用する港湾工事等の大規模公共工事

ミキサ船など専用の仮設プラント計7基が稼働(見通し含む)

○生コン使用の抑制・二次製品への転換

国・県において、海岸堤防の被覆ブロック、基礎工、消波ブロックの一部等をコンクリート二次製品へ転換するなどにより生コン使用量を縮減

②生コン原材料(砂・砕石等)等のひっ迫への対応

○原材料の地域外からの調達

沿岸9地区のうち、新たに7地区において、海運等により域外から骨材を調達(見通し含む)

○地域外からの調達可能量等の調査

港湾工事で使用する石材について、被災地への供給可能量や価格等を全国調査

③資材価格の高騰

○公共工事におけるスライド条項の適用

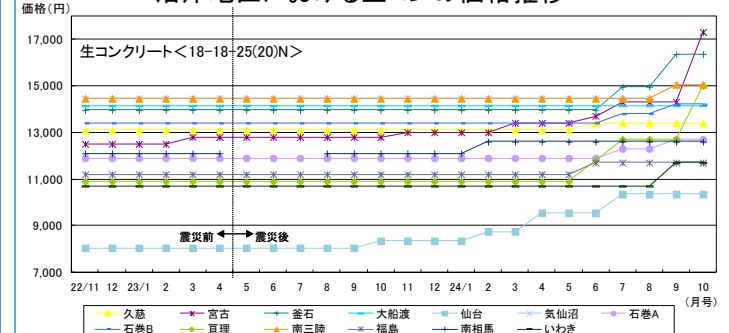
東北地方整備局において、スライド条項を適用して請負金額を見直し

○公共工事における地域外からの資材調達費用を設計変更により追加

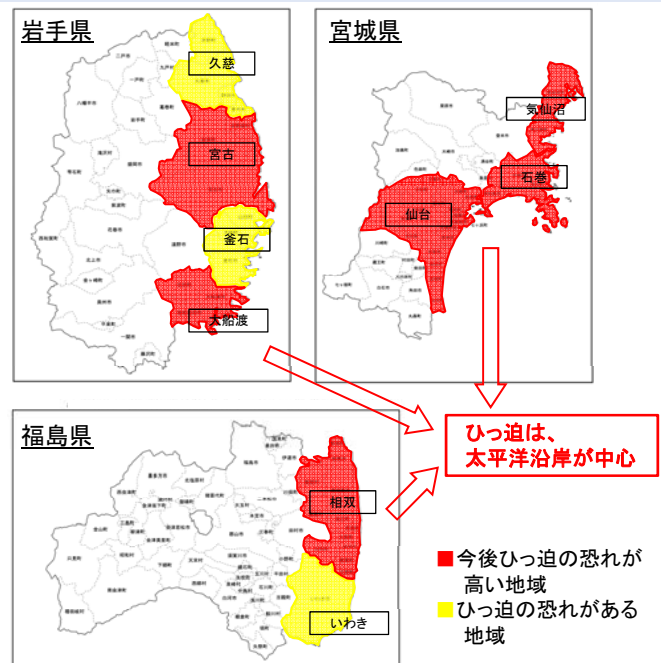
○物価調査時点から積算での使用時点までのタイムラグの縮小、見積の活用

被災三県の一部資材について公表を前倒しし、タイムラグを従来の半分に縮小
見積の活用について、関係通知を发出

沿岸地区における生コンの価格推移



生コンの需給ひっ迫の可能性のある主な地域



対策の進捗状況

※沿岸地区:岩手県(久慈、宮古、釜石、大船渡地区)、宮城県(気仙沼、石巻、仙台地区)、福島県(相双、いわき地区)

資材連絡会・分科会の設置・拡充

○ 建設資材対策東北地方連絡会において、建設資材の需要・需給の見通しを、公共工事発注機関、資材団体、建設業団体等で情報共有し、建設資材の安定確保を図る。また、必要に応じ、資材別・地区別での情報連絡会を開催する。

東北ブロック

建設資材対策東北地方連絡会

事務局：東北地方整備局
 構成機関：国、都道府県・政令市、独立行政法人、建設業団体、資材団体等

- ・H23年度(第1回) H23.7.29 ・H24年度(第1回) H24.4.20
- ・ " (第2回) H24.1.30 ・ " (第2回) H24.7.23
- ・ " (第3回) H24.3.16 ・ " (第3回) H24.10.1

資材別(分会)

※ひっ迫する資材毎に、必要性を考慮して開催予定
 ○鋼矢板(仮設)資材対策関係者打ち合わせ
 ・第1回 H24.3.27 ・第2回 H24.4.20

地区別(分会) ※ひっ迫する地区別、資材別で開催

岩手県

- 宮古地区復旧・復興工事情報連絡会 (第1回) H24.5.30 (第2回) H24.8.6
- 釜石地区復旧・復興工事情報連絡会 (第1回) H24.5.29 (第2回) H24.9.20
- 大船渡地区復旧・復興工事情報連絡会 (第1回) H24.5.29 (第2回) H24.9.21
- 久慈地区復旧・復興工事情報連絡会 (第1回) H24.5.31

宮城県

- 生コン(仙台、石巻地区)関係者打合せ H24.3.16 ○宮城県分会(生コン・碎石) H24.3.27
- 石巻地区復旧・復興工事情報連絡会 H24.5.17
- 宮城県分会 (第1回)H24.5.23 (第2回) H24.7.31 (第3回) H24.10.15

福島県

- 相馬市(生コン)関係情報連絡会 H23.12.26
- 福島県建設工事復旧・復興相双地方連絡協議会 H24.9.7